



OPEN
LIBRARY

閉館時間が20分延長されて
利用者増加中



4月の学校図書館は、2・3年生の常連利用者に加えて慣れない1年生も来館し、たくさんの利用がありました。1年生は国語の授業で図書館オリエンテーションの時間に、図書館の利用の仕方を学習しました。朝読書に必要な本や小学校には無かった本を見つけ、喜ぶ姿がそこかしこで見られました。2・3年生は、開館の案内が出る前から憩いの場としても好きな本を探しに昼休みの利用が多くありました。学校一丸となって開催された運動会練習期間中も落ち着いた雰囲気求めた多くの利用者が来館しました。放課後は、自分のやりたい学習をしっかりと決めた賢い利用者がサッと短い時間に集中して課題などを終えて帰っていく姿が見られました。6月になり、自習利用者が増えました。定期試験を意識して学習に取り組む姿が見られます。

自習などで図書館に長く残りたい利用者は、放課後下校の指示が出ている場合は特に、お家の人、学年や部活の先生双方に申し出てから利用しましょう。所在不明となることの無いようにお願いします。

学校図書館
で勉強して
帰るね！

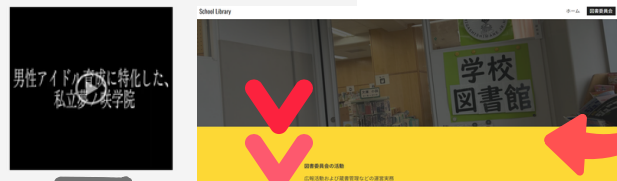


学校図書館サイト

<https://sites.google.com/ict.adachi.ed.jp/higashishimaneschoollibrary/>

学校図書館の情報をひとまとめにしました。
学校のGoogle IDからのみサイトを閲覧できます。
ご意見ご要望をお寄せください。

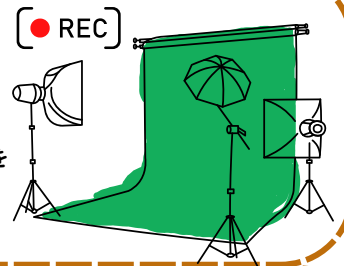
図書委員会のサイトはこちら



←図書委員のPOP（本の宣伝動画やカード）を掲載しています。

スタジオ学校図書館

学校図書館に緑の布を設置しました。グリーンバック（クロマキー合成）＝背景を緑一色で人物を撮影する道具。色調が統一され顔色が美しく合成処理しやすくなります。背景に動画や写真を組み合わせて学校や図書館の宣伝コンテンツを作成することが出来ます。学校のネットワーク内で安全に制作発表をしてみましょう。



電子的POP作成にあたっては、まだまだ取り組みが始まったばかりです。コピーも授業ではある程度許されている面もありますが、委員会の活動では、私的利用からは一歩踏み込み、発表するためのものづくりとなります。使おうとしている素材は誰かが作った大切な絵・写真・音楽などではありませんか？ 迷ったらカウンターに相談してください。模写したりコラージュ加工したりするのは芸術的表現の第一歩ですから恐れず、しかし、原作者の意向をくみ取り尊敬の気持ちを持ち、出典を確かめ、必要場合は許諾を得たり、引用元を正しく書いて原作者に配慮し、丁寧に作る挑戦をしてみましょう。今回、よく調べて素晴らしい作品を出してくれた委員の力作をご覧ください。どんどん素敵なPOPで画面が彩られて行くのを楽しみましょう。

国際教育セットの進呈を受けました

公益財団法人 日本教育公務員弘済会東京支部さまより10万円相当の本のご寄贈いただきました。新しい本の棚に配架済みです。感謝を込めて大切に活用しましょう。



利用者カードについて

カードのイメージサンプル



個人貸出カードが配られたら

学校在籍期間（卒業や転出まで）有効です。
紛失・破損・汚濁などの場合はカウンターにご相談ください。

学校の予定で体育活動や大掃除など体操着着用のまま休み時間を過ごす日も想定されますので、貸出カードを携帯していない場合も貸出処理用にカウンターの台帳にバーコードを用意してあります。
短い昼休み、図書委員さんの作業を効率的に行うため、また、間違いを避けるために出来るだけ個人貸出カードをご利用ください。

1年生の皆さんは裏面にOPACの接続方法が書いてあります。
授業時間に全員に説明する用意をしていますが、自分でチャレンジしてもOKです。
図書委員に聞か、上手いかない時はカウンターでも説明します。

うっかりの方はお早めに

近く督促状（返してくださいねのお手紙）を作成します。
返却するか、延長の処理をお願いします。

OPACの活用イメージ

学校認証コードの
ログインIDとパスワードを入れて接続
(1年生は利用者カード裏面参照)

グーグルのID・パスワード記憶機能を使う
と次回からは直接ログイン

ブックリストを登録してあります

ブックリストの中を見ると、学校の中のどこに貸してあるか、どの先生のおススメのかなどテーマごとにまとめてあります。

こちらの例は、1年生の教室の前の廊下にワゴンごと置いてある英語の本のリストです。他の人が読んでいる時もタイトルなどのデータを確認したり、一人でじっくり読みたい生徒はカウンターに申し出て個人貸出に変更手続きをしたりする時などにご活用ください。

リストは随時追加されます。

キーワード検索イメージ

利用方法がわからない時はカウンターにお問い合わせください。